

2026 プロ野球12球団選手名鑑

首脳陣

監督	三木 肇	88
2軍監督	渡辺 直人	74
ヘッドコーチ	塩川 達也	86
打撃コーチ	渡辺 浩司	89
	下園 辰哉	76
	雄平(高井 雄平)	84
投手コーチ	山下 勝巳	94
	久保 裕也	91
	小野寺 力	92
バッテリーコーチ	石井 貴	80
	青山 浩二	81
	塩見 貴洋	96
内野守備走塁コーチ	井野 卓	93
	下妻 貴寛	97
外野守備走塁コーチ	森岡 良介	95
	渡辺 正人	83
育成総合コーチ	川名 慎一	99
	牧田 明久	85
育成コーチ	真喜志 康永	87
	鷹野 史寿	90

野球太郎のお薦めオーダー

お薦めオーダー	予想先発		
1 RF 中島※	.266	早川※	4.35
2 3B 村林	.281	古謝※	3.70
3 2B 黒川※	.299	藤井※	3.20
4 1B 浅村	.239	岸	4.38
5 DH ポイト	.300	前田健	7.88(MLB)
6 SS 宗山※	.260	荘司	3.07
7 CF 辰己※	.240	内	2.92
8 C 太田	.176		
9 LF 佐藤	.239		
		主なリリーフ	
		西垣	1.96
		加治屋	3.50
		鈴木翔※	2.36
		西口	1.07
		今野	3.61
		江原	3.45
		渡邊翔	3.86
		藤平=抑え	2.11

捕手は前DeNAの伊藤光が三番手。小深田翔は昨年チーム最多28盗塁。鈴木大地は代打起用38度で打率.294。ゴンザレスは53試合で打率.229、4本塁打。先発は新加入のウレーニャ、コントレラスも候補。リリーフは宋家豪も控えている。

巨人に移籍したが、メジャー通算68勝の前田健太が新加入。今年37歳も体調万全なら戦力になる。ほかにメジャー通算11年で251登板のウレーニャ、同5年で95試合登板のコントレラスも加わり、投手力向上に期待がかかる。

野手陣では昨年、黄金ルーキーの宗山塁が遊撃に定着。すると遊撃から三塁に就いた村林一輝がブレイクして最多安打を獲得。さらに若手の中島大輔、黒川史陽が中盤から台頭し、6月に来日したポイトがチーム最多13本塁打で残留。オフには昨年3Aで22本塁打のマッカスカも加入し、長打力不足の打線が強化されそうだ。

投手陣

昨季は規定投球回到達者が不在だった投手陣。24年に11勝の早川隆久が復調し、昨季チーム最多7勝の古謝樹、6勝の藤井聖が安定すると先発ローテ再建が近づく。岸孝之、前田健の両ベテランに頼る必要もあり、若い内星龍、荘司康誠の成長も不可欠。新加入のウレーニャ、コントレラスも候補だが、まずは実績ある投手で基礎を固め、確かな柱を作りたい。

抑えの則本が抜け、再編される救援陣。新守護神は昨年12セーブの藤平尚真が適任で、西垣雅夫、西口直人がセットアッパー候補。

野手陣

中継ぎは加治屋連を筆頭に駒が揃い、渡辺翔太ら手術明けの投手が加わってくると厚みが出る。

捕手は太田光が主力。昨季は無失策で盗塁阻止率・38.3と安定感十分。二番手は堀内謙伍だ。

昨季はチーム盗塁数がリーグ1位だった打線。だが得点は4位と進めた走者を選せず。本拠地球場が狭くなり本塁打増も期待される今季、より足を生かし、より点を取れるオーダーをお薦めしたい。

まず1番は昨年22盗塁の中島2番は好打者の村林で確実に好機を作る。中軸は3番に打率3割が

見える黒川、4番に復調を期す浅村栄斗、5番に確実性も高いポイトを置き、無駄なく得点する。下位の6番は1年目で打率・26.0の宗山、7番は20盗塁の辰己涼介、8番は太田と続き、9番にはソフトバンクから加入した佐藤直樹を置く。佐藤は昨年104試合で10盗塁と足もあるが、最大のキギは浅村、ポイトがいかに長打力を発揮できるかに尽きる。

守備は昨年69失策でリーグ4位も、守備率は前年同様で悪くない。内野は二塁が黒川だと無難レベルだが、遊撃・宗山とどこまで息が合うか。外野は中堅・辰己が鉄壁。中島、佐藤も安定している。

※=打者は左打、投手は左投、◎=両打
打者の記録は打率、投手は防御率です。

福岡ソフトバンクホークス

北海道日本ハムファイターズ

オリックス・バファローズ

東北楽天ゴールデンイーグルス

埼玉西武ライオンズ

千葉ロッテマリーンズ